

みんなに伝えたい！わたしの実践

若手教員実践記録「優秀実践に学ぶ会」

令和4年8月1日（月） 茨城県水戸生涯学習センター分館にて

1 実践発表

牛久市立向台小学校※ 教諭 高橋 瑞樹 先生

「生徒の自己肯定感を高め、互いに認め合い高め合う学級経営の在り方について
～個を生かす指導と、活躍を認め合う場面設定を通して～」

※ 実践記録応募時は北相馬郡利根町立利根中学校に勤務

中学校の学級経営において、子どもの自己肯定感を高める活動として、個を生かす指導と互いを認め合う場面設定に着目し、多面的な取組を繰り返した実践発表です。特に、活動時に生徒たちの行動を振り返り、行動の価値付けを行うことで、一人一人の行動が自己肯定感の育成に結びつくよう工夫されています。
詳細は、実践論文をお読みください。



2 分科会での協議内容

当日はグループ協議ができなかったため、発表の後に感想を書き、感想を輪読する研修となりました。参加者の声をまとめてみました。

(1) 高橋先生の実践を実践しています。

- ・ 教室の黒板を使った「朝のメッセージ」は私も行っています。子どもたちは認められたことをしっかりと継続につなげています。自己肯定感が養われます。
- ・ 帰りの会に「今日のヒーロー・ヒロイン」を発表し、認め合う機会を大切にしています。同じ子に偏らないよう呼びかけをして工夫しています。
- ・ 自分も「学級目標」を生かした活動を繰り返し、自己肯定感を育てています。もう少し振り返りの機会の頻度を多くしたいです。自分の向上心が高まる実践でした。
- ・ 自分も学級経営でいくつか同じ取組をしています。その取組が子どもの自己肯定感につながっているかももう一度確認します。個別面談など日々の時間を生かして、丁寧に粘り強く実践したいです。

(2) 高橋先生の実践を自分の学級経営に生かしたいです。

- ・ 何事にも安心して取り組める学級を目指しています。今日は自己肯定感を高める手立てをたくさん得ることができました。自分の意見を安心して話せる学級づくりに

生かしたいです。

- ・ 子どもたちは学級会を楽しみにしています。話し合いの進め方を工夫することで、互いに認め合う事がわかりました。自己肯定感を高めさせるために実践したいです。
 - ・ 日頃から子どもの個性を生かした学級経営に心がけています。しかし、その個性を肯定的にフィードバックする活動はあまり無かったと思います。具体的な方法を知ったのですぐ実践してみたいです。
 - ・ 子どもたちを理解し、認め、フィードバックすることが子どもの個性を生かし学級全体の意識を高めることにつながる事がわかりました
 - ・ 個別面談のフィードバック作業は短くても毎日、一定期間で全員行い、学級日誌は日直以外の子どもが読むことを前提に記録するよう心がけています。
 - ・ 子どもたちの自己評価は実際の行動の価値とズレが生じることがあります。教師が子どもたちに丁寧なフィードバックをきちんと繰り返すことで、自分の行動にしっかり価値付けができると知りました。参考になりました。
- (3) 学級経営に苦勞しています。学級経営の充実を進めたいです。
- ・ 自己肯定感の低い子どもがたくさんいましたが、教師の声かけによって子どもの様子が変わってきました。子どもたちの人間関係をつくる基盤として、子どもと教師の信頼関係づくりが大切であると感じました。
 - ・ 自分の学級では、目標に近づくことが難しい。毎日の時間活用術や子どもたちの声を聞くためのヒントを得ました。これを生かして学級目標を達成させたいです。
 - ・ リーダー育成に取り組んでいます。学級全員に活動を体験させるのか、適材適所でスムーズに活動させるのか、悩むことがよくあります。発表を聞き、自分の学級経営に生かしていきたいです。
 - ・ コミュニケーションの苦手な子どもとの関わり方で苦勞しています。その子の生かし方を見つけてあげたいです。
- (4) 実践にはまだまだ不安もあります
- ・ 実践発表を聞き、やってみたくことがたくさんできました。しかし、新たな活動内容は他の学級との差ができ不安です。同僚の先生にどのように話を切りだしたらよいかわかりません。



3 講師指導

茨城大学教職大学院 教授 生越 達 先生

「現代社会と教員 ―未来を作り出す仕事としての教職―」

※ ご指導いただいた内容の主な項目です。

つながりの失われていく社会において学校はどのような役割を果たすべきか
伴走者としての教師、居場所としての学校

○ 二つの理解

理論の枠組みに子どもを当てはめること（行動の分析）

子どもの世界を子どもの側から理解すること（共感的理解）

○ 学級経営と学校経営の同型性

同僚性の構築と他者を感じとるセンスを磨くこと

(1) 小さな行動の意味を探る＝コミュニケーションの窓

① 人間存在の本質

② コミュニケーションの窓を探る

(2) 授業づくりにとって重要なこと

① 三つの教材解釈と受動的なデザイナーであること

② 対話の大切さ

